

よいや～の風について



——令和7年5月16日（金）No.5——校長 東原 宏章——

「役に立ちたい」

委員会活動が動き出して約1か月が経ちました。高城台小には11の委員会活動があり、5・6年生のすべての児童が、いずれかの委員会に所属し、活動しています。

委員会名	活 動 内 容（例）
運営委員会	○代表委員会の企画・運営・実行 募金活動、各種イベント等
保健委員会	○保健壁新聞作成、手洗い石鹸液の補充等保健衛生に関わる活動 ○保健集会等の企画・実施
運動委員会	○体育倉庫の開錠、整理整頓 ○運動に関する集会等の企画・実施
給食委員会	○栄養黒板書き、食器返却の手伝い、給食放送 ○給食集会の企画・実施
広報・掲示委員会	○各種ポスターの作成、貼り換え等 ○季節に合わせた掲示物の作成・掲示
栽培・飼育委員会	○金魚の世話 ○校舎内の鉢や花壇への水やり ○花壇の土作り、花の種や苗の植え、草取り
図書委員会	○図書の貸出・返却当番、図書室の掲示 ○読書週間の計画・実施
放送委員会	○サイン放送・給食放送 ○放送内容の企画・準備
生活委員会	○あいさつ・履物並べの推進 ○生活目標の徹底の工夫
人権・平和委員会	○平和学習、人権学習への啓発活動 ○平和集会、人権集会の企画・実施
環境委員会	○校内の環境整備、トイレの清掃物（雑巾、新聞紙）の補充 ○無言清掃活動への意識啓発活動

委員会活動を実施するねらいは次のとおりです。

- ・学校生活での諸課題を見出し、仲間との協働をとおして、それらを解決しようとしてほしい。
- ・自主的、実践的な活動をとおして、皆のために役立ったという思いを実感してほしい。

キーワードは「協働」と「実践」です。仲間とともに頑張ることで集団への所属意識が高まります。実際にやってみてこそ、活動の成果を、実感を伴って喜ぶことができます。「役立つ喜びを重ねた子どもは、『誰かのために役立つ仕事をしたい。』と熱望する大人になる。」と言われるゆえん（ゆえん）です。

ある委員会の活動をそばで見っていたときのことです。5年生の児童が6年生の児童に次のような相談していました。

「今日しなければならないことはもう終わったけど、あと10分ある。何かできることはないかな。」

6年生児童は次のように答えました。

「じゃあ、来週の活動の計画を立てようか。」

もっと役に立ちたいと提案する5年生。委員会活動の経験者として助言する6年生。二人とも頼もしい高学年です。低学年、中学年児童の憧れの存在としてこれからも活躍してくれることでしょう。